

國學院大學學術情報リポジトリ

蜘蛛の民俗知識：
天候予知と医療民俗に焦点をあてて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 采菜 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001586

蜘蛛の民俗知識

一天候予知と医療民俗に焦点をあてて

Folk knowledge of spider :

Focus on Weather prediction and Medical folklore

松田 采菜

キーワード：蜘蛛 吉凶判断 民間医療 天候予知 民俗知識

关键词：蜘蛛 判断吉凶 民间医疗 预知天气 民俗知识

要旨

本稿では、蜘蛛の民俗知識について分析する。蜘蛛の民俗知識には大きく①吉凶判断に関するもの、②天候予知に関するもの、③民間医療に関するものという3つが存在する。本稿ではこれまであまり認識されてこなかった蜘蛛の天候予知や民間医療の民俗知識について、文献資料と、全国の市町村史や民俗調査報告書から収集した事例をもとに検討した。

①吉凶判断に関するものは、すでに拙稿で指摘したようにおよそ地域ごとにその内容を整理することが可能である。しかし、今回取り上げた②天候予知に関するものは①吉凶判断に関するものほどまとまった地域差は見られず、文献資料に見られる「蜘蛛の巣に霧がかかると晴れる」や「蜘蛛は風が吹く前に巣をたたむ」といった記述のほかにも多様な伝承が存在していることが確認できた。③民間医療に関するものは、文献資料に見られるイボの治療に蜘蛛の糸を用いるという伝承と同様の事例、またそれに準ずる事例がそのほとんどを占めていることが確認できた。

摘要

本文针对有关蜘蛛的民俗知识进行分析。将这些有关蜘蛛的民俗知识进行大致区分的话，可以分成三类：①有关判断吉兆的 ②有关预知天气的 ③有关民间医疗的。本文基于文献资料，以及在全国的市町村史和民俗调查报告中收集的事例，对目前不太被关注的，蜘蛛的预知天气和民间医疗的民俗知识，进行分析。

有关“蜘蛛报喜”的民俗知识，在之前的文章中已指出了地区的差别。但是，此次探讨的预知天气没有像吉凶判断那样的地域差别，可以确认在文献“在蜘蛛巢上下雾时天晴”和“蜘蛛刮风之前筑巢”等的记述以外也存在很多传承事例。此外，可以确认与民间医疗相关的大部分传承，和在文献资料上看到的使用蜘蛛的线治疗瘰子的这种传承相同。

はじめに

節足動物の1種である蜘蛛は、現代の人々にとって害虫という意識をもたれてもいるが、日本各地の蜘蛛の伝承事例をみてみるとこの限りではない。

たとえば吉凶判断が多数を占める俗信⁽¹⁾をはじめ、昔話や伝説には蜘蛛が出てくるものが多数確認できる⁽²⁾。また、蜘蛛合戦など蜘蛛に関係する遊びも散見される。

こうした蜘蛛の伝承については多数の先行研究がある⁽³⁾が、ここでは特に朝蜘蛛夜蜘蛛の俗信についての先行研究を取り上げる。

桂井和雄は、蜘蛛の動作によってその吉凶が判断されることから、一種のクモ占いというものがあったのではないかと考察した⁽⁴⁾。そして、夜と朝では吉凶が真逆になる伝承が多く伝えられていることにも注目しているが、さらなる比較研究の必要性を提示するに留まっている。また、常光徹は、蜘蛛の伝承だけでなく他の昆虫の伝承も取り上げ比較した上、蜘蛛の伝承が虫と霊魂という関係性の一つとして考えていく必要があると指摘した⁽⁵⁾。しかし、これらの蜘蛛の研究は、蜘蛛に関する一部の伝承を取り上げているのみで、その全国的な実態については明らかにしてこなかった。

以上のことから本稿では、全国の市町村史や民俗調査書から事例を収集し、特に天候予知と民間医療に関する蜘蛛の俗信について検討を行なうこととする。

1. 文献資料にみられる蜘蛛の天候予知と医療利用

まず、天候予知と民間医療の俗信を検討する前に、文献資料の記述について

-
- (1) 拙稿「蜘蛛の俗信伝承—吉兆判断の俗信を中心に—」『伝承文化研究』14、201参照のこと。
 - (2) 昔話「食わず女房」や伝説「蜘蛛淵」など。
 - (3) 柳田國男「かしこ淵」『桃太郎の誕生』三省堂、1933、や野村純一「蜘蛛説話成立の背景」『日本文学論究』21号、1962年、『蜘蛛 ものと人間の文化史107』法政大学出版社、2002年など。
 - (4) 桂井和雄『民俗民芸双書79 俗信の民俗』岩崎美術社、1973
 - (5) 常光徹『学校の怪談—口承文芸の展開と諸相—』ミネルヴァ書房、1993

確認したい。蜘蛛の吉凶判断に関する文献資料は多数確認できる⁽⁶⁾が、蜘蛛の天候予知や民間医療に関する文献資料は現在確認できた限り次のものだけである。

まず、天候予知に関する文献資料の1つとして文政9年(1826)に刊行された『中陵漫録』が挙げられる。本書は、物産家として知られていた佐藤成裕によって執筆された全15巻からなるものである。佐藤成裕は宝暦12年(1762)、江戸青山に生まれた。二十歳の時に薩摩藩に呼ばれ、陸奥出羽へも調査として赴き物産調査や本草学を学んだ。本書の内容は多岐にわたっており、薬種の名称や効能、栽培方法から、各地の地勢や習俗をも記録している。本書の中で蜘蛛の天候予知は「予め晴雨をとう……蜘蛛の巣に白霧の掛りたる時は天晴なり」とあり⁽⁷⁾、蜘蛛の巣に霧がかかると晴れるという記述が確認できる。さらに同時代の天保6年(1835)に成立したとされる『続鳩翁道話』にも天候予知に関する記述が確認できる。『続鳩翁道話』の筆者は柴田鳩翁である。柴田鳩翁は天明3年(1783)に京都で生まれ、19歳で江戸に下り、40歳を過ぎてから各地を巡り講を開いて道話を行った。対象とした人々は主に百姓や文字の読めない女性や子供であったが、名が知られるようになると武士や公家からも講義を乞われるほどの人物であった。『続鳩翁道話』には、「蜘蛛は大風ふく前には巣をたゝみ狐は雨ふるまえに穴をふさぐと申しつたえて未然にそのわざわひを用心いたします」とあり⁽⁸⁾、大風が吹く前に蜘蛛が巣をたたむという内容が確認できる。また、幕末、佐渡奉行に就いた川路聖謨による日記『鳥根のすさみ』にも風に対する天候予知が確認できる。川路聖謨は、享和元年(1801)に豊後国日田に生まれた武士である。『鳥根のすさみ』には、この川路聖謨が天保11年(1840)、48歳の時に佐渡奉行に就任し、7月11日に江戸板橋の宿を出発してから翌12年5月26日の江戸の自宅に帰るまでの、佐渡在島中に見聞した内容等が書かれている。この『鳥根のすさみ』の天保11年(1840)7月16日の項において川路聖謨が詠んだ歌の一つに、「あなさとし風あらし日はいをまきて姿

(6) 前掲注(1)、P32

(7) 日本随筆大成編輯部編『日本随筆大成 第3期3』吉川弘文館、1976

(8) 柴田鳩翁『鳩翁道話(東洋文庫154)』平凡社、1970

もみせぬくものふるまい」とあり⁽⁹⁾、蜘蛛が、風の強い日は事前にその事を予知し隠れてしまう、という前述の『続鳩翁道話』で確認できた天候予知と同様の事例がみられる。

民間医療に関する蜘蛛の民俗知識は、享保7年(1722)に成立した随筆、『温故要略』において確認することが出来る。著者は山城の西郊浄円教寺の僧であり、内容は、日本における民間習慣や年中行事、禁忌吉凶、厭勝治疾、俚諺等を古典や佛書から引いて述べたものである。その中に、「蜘蛛の巣にて疣をとる事 蜘蛛の巣を疣にまけば疣おつるに現證あり」とあり⁽¹⁰⁾、蜘蛛の糸をイボの治療として使用していたことが確認できる。

2. 天候予知における蜘蛛

本章では、日本全国の市長村史及び調査報告書を基に作成した、表1 天候予知における蜘蛛を参照しながら、蜘蛛の天候予知について分析を行う。ここに記載されているのは北海道と沖縄を除いた45都府県の市町村市史類から収集した170の事例である⁽¹¹⁾。

表1を見ていくと、大きく分けて次の(1)から(4)の視点から天候を予知していると指摘できる。

(1) 蜘蛛が巣を張る

蜘蛛が巣を張ると天気がよくなるとする事例は東北地方の岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、関東地方の群馬県、茨城県、神奈川県、北陸地方の新潟県、石川県、中部地方の長野県、岐阜県、静岡県、近畿地方の和歌山県、中国地方の岡山県、広島県、四国地方の愛媛県、高知県、九州地方の福岡県に見られる。具体的には、事例19 岩手県住田町「蜘蛛が巣を作れば晴れになる」

(9) 竹内利美、森嘉兵衛、宮本常一編『日本庶民生活史料集成 第3巻 探検・紀行・地誌』三一書房、1969

(10) 盤察編『温故要略』、1722

(11) ただし北陸地方の富山県、福井県、中部地方の山梨県、近畿地方の兵庫県、大阪県、京都県、滋賀県、中国地方の鳥取県、島根県、山口県、九州地方の佐賀県、長崎県は参照したが事例を見つけることができなかった。

や事例118 石川県金沢市山北「蜘蛛が巣を張れば晴れ」といった事例であり、蜘蛛の天候予知の俗信の大部分を占めている。そのうち蜘蛛が巣を張る時間帯を朝とする事例は東北地方の福島県、関東地方の茨城県、北陸地方の新潟県、中国地方の岡山県、四国地方の愛媛県、高知県、九州地方の長崎県に見られる。具体的には、事例61 茨城県勝田市「朝、クモの巣がかかっていると天気になる」や事例159 高知県池川町（現、仁淀川町）「朝クモの糸が多く張られていたら良い天気になる」といった事例である。また、蜘蛛が巣を張る時間帯を前日の夕方とする事例は東北地方の宮城県、関東地方の茨城県、北陸地方の新潟県、石川県、中部地方の長野県、九州地方の福岡県に見られる。具体的には、事例111 新潟県長岡市寺泊の「夜、クモが巣を張り直すと、晴れ」や事例59 茨城県東海村船場「クモが夕方巣を張ると明日は天気」といった事例である。

蜘蛛が巣を張ることから天候を予知する事例の中には、蜘蛛の巣の形状に言及した事例がある。蜘蛛の巣の形状が縦だと晴れるとする事例はなく、雨だとする事例は東北地方の岩手県、宮城県、福島県で見られる。具体的には、事例52 福島県本宮市「朝、蜘蛛の巣が縦に張っているときは、天気が悪くなる」といった事例である。蜘蛛の巣の形状が横だと晴れるとする事例は、東北地方の岩手県、宮城県、福島県に見られる。具体的には、事例12「くもの巣が横にはれば天気がよい」といった事例である。なお、蜘蛛の巣の形状を横ではなく平らや水平で晴れるとする事例が、東北地方の岩手県、宮城県、福島県、関東地方の群馬県で見られる。具体的には、事例80 群馬県佐波郡境町（現、伊勢崎市）「地ぐもが平らに巣をかけると晴れ」という事例である。形状に言及したものは縦と横を対にして判断する事例が東北地方の岩手県、宮城県、福島県で確認できる（事例番号12、13、28、29、34、35、48、49、51、52）。具体的には、事例28、29 宮城県「蜘蛛が巣を縦に張ったときは雨、水平のときは晴」といった事例である。

蜘蛛の巣がどこに張られたかによって天候を予知する事例もある。高い場所に作ると洪水になるとする事例が東北地方の岩手県と宮城県に見られる。具体的には事例6「鳥と蜘蛛が高い所に巣を作れば洪水がある」といった事例である。一方、低い場所に作ると晴れるとする事例が関東地方の群馬県と中部地方の長野県に見られる。具体的には、事例72 群馬県富岡市「くもの巣が地面の

近くにはあってある時は雨が降らない」や事例116、117 石川県珠洲郡（現、鳳珠郡）「蜘蛛の巣の夕方高く張る時は晴れ、低く張る時は雨」という事例である。また、低い場所に作ると風が吹くという事例が中部地方の長野県、愛知県、九州地方の鹿児島県に見られる。具体的には事例140 愛知県西春町（現北名古屋市）においての「蜘蛛（大形のもの）が低いところに巣を作ると大風がくる」という事例である。

（2）蜘蛛が巣をたたむ

蜘蛛が巣をたたむと風が吹くとする事例は、東北地方の青森県、福島県、関東地方の埼玉県で確認できる。具体的には、事例1 青森県倉石村「蜘蛛は大風吹く前に巣をたたむ」といった事例である。この伝承は、前述の江戸後期の文献、『続鳩翁道話』や『鳥根のすさみ』に記載されている内容と類似している。

また、関東地方の東京都では、蜘蛛の巣をたたむ行動から雨になるとする事例が確認できた。具体的には事例1 青森県倉石村（現、五戸町）「クモが巣を片付けていたら雨になる」といった事例である。

（3）水滴（露）がかかる

巣に水滴がかかると天気だとする事例は東北地方の青森県、岩手県、山形県、関東地方の群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、北陸地方の新潟県、石川県、中部地方の長野県、東海地方の三重県、中国地方の岡山県、四国地方の香川県、九州地方の長崎県に見られる。具体的には、事例119 石川県七尾市「朝、蜘蛛の巣にかかった水滴はその日の晴れの証拠」や事例155 香川県琴平町「蜘蛛の巣に水滴がついていると晴れ」といった事例である。ただし、関東地方の群馬県、埼玉県、東京都、千葉県の事例では水滴がかかると雨になるとする事例も存在する。例えば、事例84、85、86 埼玉県滑川町羽尾裏郷「蜘蛛の巣に露の玉があると雨、ないと晴れ。早く露が落ちれば天気はよくなってくる」、事例79 群馬県藤岡市立石・宮本町「クモの巣に朝露がたまっていると雨になる」といった事例である。クモの巣に水滴（露）がかかることで天候予知をする事例は九州地方の鹿児島県、大分県、熊本県、福岡県では見られない。この事例も（1）クモが巣を張ると同様に水滴があるかないか対に捉えて判断する事例

が関東地方の埼玉県、東京都、中部地方の長野県に存在する（事例番号67、68、75、76、78、79、84、85、86、87、95、96）。具体的には事例84、85、86「蜘蛛の巣に露の玉があると雨、ないと晴れ。早く露が落ちれば天気はよくなってくる」といった事例である。

（４）霧がかかる

蜘蛛の巣に霧がかかることで天気が良くなるとする事例は、関東地方の栃木県、埼玉県、中部地方の長野県で確認できる。具体的には、事例63 栃木県氏家町（現、さくら市）「クモの巣に霧がかかっていたら晴れる」といった事例である。この伝承は前述の『中陵漫録』に記載されている内容と類似している。

一方で霧がかかると雨になるとする事例が関東地方の東京で見られる。具体的には、事例97 東京都多摩市「クモの巣に霧がかかると近いうちに雨が降る」である。

以上のことをまとめると、文献資料の記述に見られた蜘蛛が巣をたたむことによって風が吹くとする事例と蜘蛛の巣に霧がかかることで晴れるとするものを収集した事例に見つけることができた。その一方で、クモが巣を張ることによって天候予知をする、また、巣に水滴がかかることで天候予知をするという、文献資料には見られない視点をもった伝承が存在することも明らかになった。

3. 民間医療における蜘蛛

次に、民間医療における蜘蛛について検討する。日本全国の市長村史及び調査報告書を基に作成したのが、表2 民間医療における蜘蛛である。蜘蛛を用いる民間医療の事例を北海道と沖縄を除く45都府県の市町村市史類から52例収集した⁽¹²⁾。

(12) 東北地方の青森県、宮城県、山形県、関東地方の栃木県、千葉県、東京都、北陸地方の富山県、福井県、山梨県、静岡県、愛知県、近畿地方の滋賀県、京都県、大阪県、兵庫県、奈良県、和歌山県、中国地方の島根県、岡山県、山口県、四国地方の高知県、九州地方の佐賀県、大分県は参照したが記載がなかった。

収集した事例の大半はイボに関するものであり、東北地方の岩手県、秋田県、福島県、関東地方の茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、北陸地方の新潟県、中部地方の長野県、岐阜県、近畿地方の三重県、中国地方の鳥取県、広島県、四国地方の徳島県、九州地方の福岡県、熊本県、宮城県、鹿児島県に見られる。

そのうち、巣も含むクモの糸を使用するという事例は東北地方の岩手県、秋田県、福島県、関東地方の茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、北陸地方の新潟県、中部地方の長野県、岐阜県、近畿地方の三重県、中国地方の鳥取県、広島県、四国地方の徳島県、九州地方の福岡県、熊本県、宮城県、鹿児島県に見られる。

この中でも、クモの巣をイボに巻くととれる（治る）とする事例は、東北地方の岩手県、秋田県、関東地方の茨城県、群馬県、北陸地方の新潟県、中部地方の群馬県、岐阜県に見られた。具体的には、事例3 秋田県「イボのできた時は、クモの糸を巻いておくととれる」、事例43 広島県向原町（現、安芸高田市）「あのだいじょう蜘蛛がおりまさあね、あれを捕ってね。こうイボの周りうくるくる巻きつけたら、イボがとれるいうてね、蜘蛛の糸をこれへ巻きつける。きれいな蜘蛛ですよ、ねばが強いですよ」、事例48 福岡県太宰府市においても「エぼ（エンバリ）をいぼにギリギリ巻いてひっぱる」といったものである。この伝承は前述の『温故要略』に記載されている内容と類似している

糸をイボにつけることで治療しようとする事例は、東北地方の岩手県、北陸地方の新潟県、中部地方の長野県において見られる。具体的には、事例22 新潟県柏崎市において「クモの巣をイボにつけておくと治る」や、事例25 長野県北安曇郡において「疣をなほすまじなひ：蜘蛛の巣をつける」といった事例である。

また、イボに準ずる皮膚疾患への対処法と考えられる事例も確認できる。こちらも蜘蛛の糸を使う事例が確認できる。具体的には、事例4 秋田県の南秋田郡「ハチに刺された時には、クモの巣をつければ治る」、事例40「ものもらい（メボ）：クモの巣をまわりにまくようにすると治る」といった事例である。糸だけでなく蜘蛛そのものを使用する事例も確認できる。具体的には、事例9 福島県猪苗代町「吹き出させるには蜘蛛をつぶして患部につける（腫物・できもの）」、事例44 徳島県小松島市「蜘蛛：蜂に刺された時に潰してその汁をつける」といった事例である。

こうした民間医療における蜘蛛の利用だが、特定の蜘蛛を使用していたという事例が、東北地方の福島県、関東地方の群馬県、北陸地方の石川県、中部地方の長野県、近畿地方の三重県、中国地方の広島県、九州地方の鹿児島県で見られる。具体的には、事例11 福島県船引町（現、田村市船引町地区）の鬼蜘蛛や事例16 群馬県富岡市額部の夕立グモである。

このように特定の蜘蛛を用いるということは、その地域に存在する蜘蛛にはいくつかの種類があり、人々がその特性を知っていたからであろう。言い換えれば、人々は蜘蛛に対して観察や経験によって得られた知識を持ちその知識を生活において利用していたのである。

以上のことをまとめると、民間医療における蜘蛛の利用は、文献資料の『温故要略』と同様の内容をもった事例が広範囲に伝承されているといえる。

まとめ

①吉凶判断に関するものは、すでに拙稿で指摘したように、朝蜘蛛を見ると吉とする事例は全国的に見られる一方、夜蜘蛛を見ると吉とする事例は東北地方から関東地方にかけての地域と九州地方の地域で濃密に見られ、関西地方、中国地方、四国地方にもまばらに見られる。吉兆のうち、客が訪れるとする事例は、東北地方の大部分で夜蜘蛛を見たときがその多数を占めている。一方、福島県から関東地方にかけては朝蜘蛛を見たときがその多数を占めている。また、金や土産がもらえとする事例は関東地方を中心に見られる。凶兆のうち、東日本の事例は「金がなくなる」「泥棒が入る」など具体的な内容があるのに対し、西日本の凶兆については、その具体的な内容を述べていない点が異なっている。

今回取り上げた②天候予知に関する蜘蛛の民俗事例は、文献資料に見られる「蜘蛛の巣に霧がかかると晴れる」や「蜘蛛は風が吹く前に巣をたたむ」といった記述のほかにも、多様な伝承が存在していることが確認できた。しかし、それらの地域差は①吉凶判断に関するものほどまとまって見られなかった。

③民間医療に関するものは文献資料に見られるイボの治療に蜘蛛の糸を用いるという伝承とそれに準ずる伝承がそのほとんどを占めていることが確認でき

た。

以上のことをまとめると、①吉凶判断に関するものはおよそ地域ごとにその内容を整理することが可能である。②天候予知に関するものについていえば、蜘蛛について述べた文献資料の情報よりも民俗伝承のほうがより多彩な情報を有しているといえるが、地域差は明確に見られない。③民間医療に関するものは、ほとんどがイボの治療に用いるという均質の情報を有している。これらの違いはなぜ生まれたものだろうか。今後はその背景について考察していく必要がある。また、天候予知に関する蜘蛛の民俗事例には、今回の表中にも蜂も同様という記述が見られ、蜘蛛だけがその判断材料ではないようである。今後は、こうした昆虫の民俗知識も調査し、蜘蛛の民俗知識との比較を行い、その相違を検討することも研究課題としたい。

参考文献

- 信濃教育会北安曇部会編『北安曇郡郷土誌稿 第四輯 俗信俚諺篇』郷土研究社、1932
浅野末治「宮床の風習」『郷土の伝承 第2集 第413号』宮城教育會、1933
気仙沼町誌編纂委員会編『気仙沼町誌』気仙沼町誌編纂委員会、1953
桂井和雄『市民新書4 土佐山民俗誌』高知市、1955
宮城県史編纂委員会編『宮城縣史 20 民俗Ⅱ』宮城県史刊行会、1960
水巻町郷土誌編集委員会編『水巻町誌 全』福岡県遠賀郡水巻町教育委員会 石橋豊藏、1962
室生村史編集委員会編『室生村史』室生村役場、1966
村岡浅夫編『広島県民俗資料 第1回 心意伝承(1) 民間暦と俗信』小川晩成堂、1967
協和村郷土誌編纂委員会編『協和村郷土誌』協和村教育委員会、1968
大洲市誌編纂会編『大洲市誌』洲市誌編纂会、1972
錦三郎『飛行蜘蛛』丸の内出版、1972
熊見定次郎『高田郡志』芸備郷土誌刊行会、1972
池川町誌編集委員会編『池川町誌』池川町誌編集委員会(池川町教育委員会内)、1973
東京女子大学文学部編『因幡若桜の民俗』東京女子大学史学科民俗調査団、1973
北九州大学民俗研究会編『入津湾の民俗』北九州大学民俗研究会、1974
福田武雄編『農民生活変遷中心の滝沢村誌』滝沢村、1974
橋本範行『日向馬関田の伝承』(『日本民俗誌大系 第2巻 九州』)角川書店、1975
勝田市史編さん委員会編『勝田市史 民俗編』勝田市、1975
東京女子大学史学科民俗調査団編『富士東麓の民俗』御殿場市史編さん委員会、1975
岩出町誌編集委員会編『岩出町誌』岩出町、1976
小松島市史編纂委員会編『小松島市史 風土記』徳島県小松島市役所、1977
岐阜市編『岐阜市史 通史編 民俗』岐阜市、1977
美濃加茂市編『美濃加茂市史 民俗編』美濃加茂市、1978
美津島町誌編集委員会編『美津島町誌』美津島町役場、1978

- 田川市史編纂委員会編『田川市史 民俗編』田川市役所、1979
- 猪苗代町史編さん委員会編『猪苗代町史 民俗編』猪苗代町史出版委員会、1979
- 常陸太田市史編さん委員会編『常陸太田市史 民俗編』常陸太田市、1979
- 群馬県史編さん委員会編『群馬県史 資料編26 民俗2』群馬県、1982
- 岩代町編『岩代町史 第4巻 各論編 民俗・旧町村沿革』岩代町、1982
- 船引町編『船引町史 民俗編』船引町、1982
- 辰口町史編纂専門委員会編『辰口町史 第1巻 自然・民俗・言語編』辰口町、1983
- 大迫町編『大迫町史 民俗資料編』大迫町、1983
- 山古志村編『山古志村史 民俗』、山古志村、1983
- 富岡市市史編さん委員会編『富岡市史 民俗編』富岡市、1984
- 滑川村企画財政課編『滑川村史 民俗編滑川市、1984
- 黒川村誌編集委員会編『黒川村誌 民俗一』黒川村、1984
- 西春町市史編纂委員会編『西春町史 民俗編2』西春町役場、1984
- 珠洲郡役所編『石川県珠洲郡誌（復刻版）』臨川書店、1985
- 長井市史編纂委員会『長井市史 第4巻 風土・文化・風俗編』長井市、1985
- 長野県編『長野県史 民俗編 第4巻（3）北信地方 ことばと伝承』長野県史刊行会、1986
- 弓削町編『弓削町誌』弓削町、1986
- 芸濃町教育委員会編『芸濃町史 下巻』芸濃町教育委員会、1986
- むつ市史編さん委員会編『むつ市史 民俗編』むつ市、1986
- 岩手県教育会九戸郡部会編『九戸郡誌』臨川書店、1986
- 八潮市編『八潮市史 自然編』八潮市、1986
- 柏崎市史編さん委員会編『柏崎市史資料集 民俗編 柏崎の民俗』柏崎市史編さん室、1986
- 出雲崎町史編さん委員会編『出雲崎町史 民俗・文化財編』出雲崎町、1987
- 胆沢町編『胆沢町史 XI 民俗編2』胆沢町史刊行会、1987
- 長野県編『長野県史 民俗編 第1巻（3）東信地方 ことばと伝承』長野県史刊行会、1987
- 白沢村史編纂委員会編『白沢村史 各論編1 旧村沿革・民俗』白沢村、1987
- 河内町史編纂委員会編『河内町史 柑橘・民俗編』河内町、1987
- 岩手県教育会岩手郡部会編『岩手郡誌』臨川書店、1987
- 長野県編『長野県史 民俗編 第1巻（3）東信地方 ことばと伝承』長野県史刊行会、1987
- 北九州市教育委員会『北九州市文化財調査報告書 第46集 北九州市民俗調査報告書 上巻』北九州市教育委員会、1988
- 桶川市『桶川市史 第6巻 民俗編』桶川市、1988
- 寺泊町編『寺泊町史 資料編4 民俗・文化財』寺泊町、1988
- 天栄村史編纂委員会編『天栄村史 民俗編』天栄村、1989
- 日高町教育委員会編『日高町史 民俗編』日高町、1989
- 氏家町史作成委員会編『氏家町史 民俗編』氏家町、1989
- 藤岡市史編さん委員会編『藤岡市史 自然編』藤岡市、1989
- 長野県編『長野県史 民俗編 第2巻（3）南信地方 ことばと伝承』長野県史刊行会、1989

- 益城町史編さん委員会編『益城町史 史料・民俗編』益城町、1989年
向原町誌編さん委員会編『向原町誌 下巻』向原町、1989
有明町編『有明町史 下巻』有明町、1989
北九州市史編さん委員会編『北九州市史 民俗』北九州市、1989
篠栗町文化財専門委員会編『篠栗町誌 民俗編』篠栗町、1990
長野県編『長野県史 民俗編 第3巻(3) 中信地方 ことばと伝承』長野県史刊行会、1990
北本市教育委員会市史編さん室編『北本市史 第3巻 上 自然・原始資料編』北本市教育委員会、1990
白河市編『白河市史 第9巻 各論編1 民俗』白河市、1990
長岡市史編集委員会民俗・文化財部会編『聞き書き長岡の民俗 5』長岡市、1990
東成瀬村郷土誌編集委員会編『東成瀬村郷土誌』東成瀬村教育委員会、1991
西会津町史編さん委員会編『西会津町史』西会津町史刊行委員会、1991
下野敏見編『知覧町民俗資料調査報告書2 知覧町の民俗』知覧町教育委員会、1991
新津市史編さん委員会編『新津市史 資料編 第6巻 民俗・文化財』新津市、1991
陸前高田市史編集委員会編『陸前高田市史 第6巻 民俗編(下)』陸前高田市、1992
工藤睦男編『大畑町史』大畑町、1992
東海村史編さん委員会編『東海村史 民俗編』東海村、1992
佐々木哲哉『福岡の民俗文化』九州大学出版会、1993
太宰府市史編さん委員会編『太宰府市史 民俗資料編』太宰府市、1993
宮古市史教育委員会編『宮古市史 民俗編(下巻)』宮古市、1994
住田町史編纂委員会編『住田町史 第六巻 民俗編』住田町、1994
ことわざ研究会編『筑豊気象俚諺』(『ことわざ研究資料集成 第八巻』) 大空社、1994
四日市市編『四日市市史 第5巻 資料編 民俗』四日市市、1995
長船町史編纂委員会編『長船町史 民俗編』長船町、1995
村山市史編さん委員会編『村山市史 地理・生活文化編』村山市、1996
御代田町誌編纂委員会『御代田町誌』御代田町誌刊行会、1996
東海村史編さん委員会編『東海村史 民俗編』東海村、1992
印西町史編さん委員会編『印西町史 民俗編』印西町、1996
多摩市史編纂委員会編『多摩市史 通史編1 自然環境・植物・動物・原始および古代・中世・近世』多摩市、1997
琴平町史編集委員会編『町史ことひら 4 民俗・史跡・碑・文化財・人物編』琴平町、1997
福島彬人『クモが好き』無明舎出版、1999
大島町史編さん委員会編『東京都大島町史 民俗編』大島町、1999
武蔵村山市史編さん委員会編『武蔵村山市史 民俗編』武蔵村山市、2000
青森県史編さん民俗部会編『青森県史 民俗編 資料 南部』青森県、2001
金沢市史編さん委員会編『金沢市史 資料編14 民俗』金沢市、2001
新修名古屋市史編集委員会編『新修名古屋市史 第九巻 民俗編』名古屋市、2001
勢和村史編集委員会編『勢和村史 資料編二』勢和村、2001
伊集院町誌編さん委員会編『伊集院町誌』伊集院町、2002
双葉町史編さん委員会編『双葉町史 第5巻 民俗編』双葉町、2002

- 沼隈町教育委員会編『沼隈町誌 民俗編』沼隈町教育委員会、2002
大磯町編『大磯町史 8 (別編) 民俗』大磯町、2003
七尾市史編さん専門委員会編『新修七尾市史 13 民俗編』七尾市、2003
柿崎町町史編さん委員会編『柿崎町史 自然・民俗編』柿崎町、2004
総和町史編さん委員会編『総和町史 民俗編』総和町、2005
鶴田町郷土誌編集委員会編『鶴田町郷土誌』鶴田町、2005
油木町史編さん委員会編『油木町史 通史編 下巻』油木町、2005
南相木村教育委員会編『南相木村誌 南相木の民俗習慣』南相木村、2006
金ヶ崎町編『金ヶ崎町史4 民俗』岩手県金ヶ崎町、2006
横須賀市編『新横須賀市史 別編 民俗』横須賀市、2013

表1 天候予知における蜘蛛

	県名	地名	時間 時期	場所	現象	備考		天候	
						巣の形状	蜘蛛の状態		
1	青森県	倉石村	—	—	巣をたたむ	—	—	大風	
2		大畑町	朝	—	巣に水滴	—	—	晴	
3		むつ市	—	船の中	姿を現す	—	巣の中心にいる	平穏	
4			—	—	姿を消す	—	巣の端にいる	嵐	
5	岩手県	九戸郡	—	—	巣を作る	—	—	晴*	
6			—	—	巣を作る	高いところ	—	洪水	
7		宮古市	—	雨の中	巣を作る	—	—	晴	
8		金ヶ崎町	—	—	巣を作る	平ら	—	晴*	
9			朝	—	巣を作る	—	—	晴	
10			朝	—	巣を作る	たくさん	—	晴*	
11			—	—	巣を作る	—	—	晴	
12			—	—	巣を作る	横	—	晴*	
13			—	—	巣を作る	縦	—	曇、雨	
14		奥州市	朝	—	巣に水滴	—	—	晴	
15			朝	—	巣に水滴	水滴が6つつく	—	晴	
16			朝	—	巣がはっきり見える	—	—	晴*	
17			夜	—	クモが降りる	—	—	雨	
18		住田町	—	軒下	巣を作る	—	—	大風	
19			—	—	巣を作る	—	—	晴	
20			—	軒下	巣を作る	—	—	雨	
21			—	野天	巣を作る	—	—	晴	
22			花巻市大迫町	—	—	巣を作る	—	—	晴
23				—	山	巣を作る	—	—	晴*
24		—		—	巣を作る	—	—	晴*	
25		陸前高田市	—	軒下	巣を作る	—	—	雨	
26			—	野天	巣を作る	—	—	晴	
27			—	—	巣を作る	—	—	晴	
28		宮城県	—	—	巣を作る	縦	—	雨	
29			—	—	巣を作る	水平	—	晴	
30			—	—	巣を作る	上	—	洪水	
31			—	—	雨の中	巣を作る	—	—	晴
32	—		夕	雨の中	巣を作る	—	—	晴*	
33	気仙沼町		—	—	巣を作る	—	—	晴	
34	黒川郡宮床村	—	—	巣を作る	横	—	気温上昇		
35		—	—	巣を作る	縦	—	雨		
36	秋田県	東成瀬村	—	—	巣を作る	—	—	晴	
37		協和村	—	—	巣を作る	—	—	晴	
38		北秋田・由利・仙北	—	—	巣を作る	—	—	晴	
39		北秋田	—	—	姿を現す	—	忙しく這いまわる	大風	
40	山形県	鹿角	—	戸外	巣を作る	—	—	晴*	
41		村山市	—	軒下	巣を作る	—	—	晴	
42			朝	—	巣に水滴	—	—	晴*	
43		長井市中央	朝	—	巣が白く見える	—	—	晴	
44		長井市伊佐沢	—	—	巣を作る	—	—	雨	
45	東置賜郡梨郷	秋	空	クモの糸や巣が飛ぶ	—	—	雪		
46	福島県	二本松市	—	—	巣をたたむ	—	—	風	
47			—	—	巣を作る	—	—	晴	
48		田村市船引町	朝	稲の上	巣を作る	平ら	—	晴	
49			朝	稲の上	巣を作る	縦	—	雨	
50			西会津町	秋	—	巣を作る	低く	—	少雪

51	福島県	本宮市	朝	—	巣を作る	平ら	—	晴*	
52			朝	—	巣を作る	縦	—	雨	
53			白河市	—	—	巣を作る	—	—	晴*
54		双葉町	—	—	巣を作る	—	—	晴*	
55		須賀川市	—	—	巣をたたむ	—	—	大風	
56		猪苗代町	—	—	巣を作る	丈夫	—	不良*	
57	茨城県	常陸太田市	—	山	巣がある	多い	—	晴	
58			—	山	巣がある	少ない	—	雨	
59		東海村船場	夕方	—	巣を作る	—	—	晴*	
60			夕方	—	巣を作る	—	—	雨	
61		勝田市	朝	—	巣がある	—	—	晴*	
62	古河市	—	—	巣がある	張り続く	—	晴		
63	栃木県	氏家町	—	—	巣に霧	—	—	晴	
64	群馬県	利根郡利根村	—	—	クモが降りる	—	—	雨	
65			—	—	—	—	—	—	晴
66		吾妻群鳩恋村	—	—	巣を作る	平ら	地ぐも	晴	
67		碓氷郡松井田町	朝	—	巣に水滴	—	—	晴	
68		富岡市	—	—	巣に水滴	—	—	晴*	
69			—	—	巣を離れる	—	—	雨*	
70			—	—	巣を作る	丈夫	—	風、雨	
71			雨が降り出す	—	—	姿を消す	—	—	雨
72			—	—	—	—	—	—	晴
73		朝	—	—	巣に水滴	—	—	晴	
74		富岡市額部地区	朝	—	—	巣に水滴	—	—	晴
75		—	—	—	—	—	—	雨	
76		富岡市上黒岩東	—	—	—	巣に水滴がない	—	—	晴
77		—	—	—	—	姿を現す	—	石垣夕モ	雨
78		藤岡市大戸町・上戸塚・上大塚	—	—	—	巣に水滴	—	—	雨
79	藤岡市立石・宮本町	朝	—	—	巣に水滴	—	—	雨	
80	佐波郡境町	—	—	—	巣を作る	平ら	地ぐも	晴	
81	埼玉県	北本市	—	—	巣をたたむ	—	—	大風	
82			朝	—	—	巣に水滴	—	—	晴
83		滑川町福田馬場	朝	—	—	巣に水滴	—	—	止雨
84		—	—	—	—	—	—	雨	
85		滑川町羽尾裏郷	—	—	—	巣に水滴がない	—	—	晴
86		—	—	—	—	—	露が早く落ちる	—	晴*
87		滑川町和泉土	夕方	—	—	巣を作る	—	—	晴
88			—	—	—	巣を作らない	—	—	雨
89		日高市	—	—	—	巣を作る	—	女郎蜘蛛	晴
90			—	—	—	巣を作らない	—	—	雨
91			—	—	—	巣が白く見える	—	—	晴*
92			八潮市	—	—	—	巣に水滴	—	—
93	桶川市	—	—	—	巣に霧	—	—	晴	
94	千葉県	印西市	—	—	—	巣に水滴	—	雨	
95	東京都	武蔵村山市	—	—	—	巣が光る	—	—	晴*
96			—	—	—	巣に水滴	—	—	夕立
97		—	—	—	—	巣に霧	—	—	雨
98		多摩市	—	—	—	巣がはっきり見える	—	—	晴*
99			—	—	—	巣をたたむ	—	—	雨
100			—	—	—	—	—	—	晴
101		大島町	—	—	—	巣に水滴	白い	—	晴
102	神奈川県	横須賀市池上	—	—	—	巣を作る	—	晴*	

103	新潟県	柿崎町	朝	—	巣を作る	—	—	晴	
104		長岡市	—	—	巣を作る	大きく	—	晴*	
105			—	—	巣を作る	小さく	—	風	
106		柏崎市	朝	—	クモが降りる	—	—	晴	
107			夕方	—	クモが降りる	—	—	雨	
108			—	—	巣がある	細かい	—	雨	
109		黒川村	—	—	巣を作る	—	—	晴	
110		出雲崎町	—	—	巣を作る	—	—	雨	
111		長岡市寺泊町	夜	—	巣を作る	—	—	晴	
112		山古志村種苧原	—	人家	姿を現す	—	アシナガグモ	雪	
113		山古志村	—	—	巣を作る	—	—	晴*	
114		新潟市秋葉区 金城	朝	—	巣に水滴	—	—	晴	
115		新潟市秋葉区 金津	—	—	巣を作る	—	—	晴*	
116		石川県	珠洲郡	夕方	—	巣を作る	高い	—	晴れ
117				—	—	巣を作る	低い	—	雨
118	金沢市山北		—	—	巣を作る	—	—	晴	
119	七尾市		朝	—	巣に水滴	—	—	晴	
120	長野県	北安曇郡	—	—	巣を作る	—	地蜘蛛	晴*	
121			夕方	—	巣を作る	—	—	晴	
122			—	—	巣を作る	—	—	晴*	
123			—	—	クモが降りる	—	—	風	
124		久保	—	—	巣を作る	—	地ぐも	晴*	
125		三分	—	—	巣に水滴	—	—	晴	
126		名古熊	—	—	巣がある	低い	—	風	
127		若宮・葛窪	—	—	巣を作る	—	—	晴*	
128		立沢・中平	—	—	巣に水滴	白く光る	—	晴	
129		笹原	朝	—	巣を作る	—	—	日照	
130	岩岡	—	北側	巣を作る	—	—	風		
131	下波田	—	—	巣を作る	—	—	晴		
132	南相木村	—	—	巣を作る	地に高く	—	雨		
133		—	—	巣を作る	地に近く	—	晴		
134		—	—	巣に霧	—	—	晴		
135		御代田町	—	—	巣に水滴	—	—	晴	
136	岐阜県	美濃加茂市	—	雨の中	巣を作る	—	—	晴*	
137	静岡県	御殿場市	—	小川	巣を作る	—	—	晴*	
138	愛知県	名古屋山下之 一色	—	木と 木の間	巣がある	—	—	大風がこ ない	
139			—	—	陰	巣がある	—	—	大風
140		西春町	—	—	巣を作る	低いところ	—	大風	
141	三重県	四日市市	—	軒	巣を作る	—	—	雨	
142			朝	—	巣に水滴	—	—	晴	
143			—	—	姿を消す	—	—	大風	
144		芸濃町	—	西	走る	—	—	雨	
145	奈良県	室生村	—	西	走る	—	—	雨	
146	和歌山県	岩出町	—	雨の中	巣を作る	—	—	晴	
147	岡山県	長船町	朝	—	巣に水滴	—	—	晴	
148			朝	外	巣を作る	—	—	晴	
149			—	軒の内、 木の陰	巣を作る	—	—	晴	
150	広島県	—	夕方	—	巣を作る	—	—	雨	
151		—	—	晩	—	巣を作る	—	—	晴
152		油木町	—	軒下	巣を作る	—	—	風	
153		沼隈町	—	—	巣を作る	—	—	晴	
154	徳島県	小松島市	—	雨の中	クモが降りる	—	—	晴*	

155	香川県	琴平町	—	—	巣に水滴	—	—	晴
156	愛媛県	弓削町	—	—	巣を作る	—	—	晴
157		大洲市	朝	—	巣を作る	—	—	晴*
158	高知県	—	—	—	巣を作る	—	—	風
159		池川町	朝	—	巣を作る	糸が多く	—	晴*
160		水巻町	—	—	巣を作る	—	—	雨
161	福岡県	篠栗町	夕方	—	巣を作る	—	—	晴
162		猿喰	—	—	巣を作る	—	—	風
163		北九州市	—	—	巣を作る	—	—	風
164	長崎県	有明町	朝	—	巣に水滴	—	—	晴
165			—	—	巣を作る	—	—	晴*
166	熊本県	河内町	—	—	獲物を糸で巻いている	—	—	雨
167	大分県	佐伯市	—	—	クモが昇る	—	—	雨
168			—	—	クモが降りる	—	—	晴*
169	鹿児島県	鶴田町	—	下枝	巣を作る	—	—	台風
170		知覧町南別府・中波瀬村落	—	—	巣がある	(巣)低い場所	—	台風

晴*…晴とは明記しておらず、「天気になる」等の表現 雨*…雨とは明記しておらず、「天気が悪くなる」等の表現

表2 民間医療における蜘蛛

	県名	地名	症状	使用箇所	使用方法	備考	
1	岩手県	岩手郡	イボ	巢	つける	—	
2		滝沢村	イボ	巢	つける	—	
3	秋田県	秋田全域	イボ	糸	つける	—	
4		山本郡	蜂刺症	糸	つける	—	
5		南秋田郡	擦り傷・切り傷	糸	巻く	—	
6				出血	巢	つける	—
7		平鹿郡	イボ	巢	巻く	—	
8		雄勝郡	魚の目	巢	巻く	—	
9		福島県	猪苗代町	腫物	蜘蛛	つぶすしたりはいだものをつける	—
10			田村市船引町地区	イボ	糸	巻く	—
11	イボ			糸	巻く	鬼蜘蛛	
12	天栄村上松本・小川		イボ	巢の糸	巻く	—	
13	天栄村白子		イボ	糸	巻く	オニクボ	
14	茨城県	常陸太田市	イボ	巢	巻く	—	
15		東海村	イボ	巢の糸	巻く	—	
16	群馬県	富岡市額部	イボ	巢	巻く	夕立グモ	
17		藤岡市上日野	イボ	巢	巻く	—	
18	埼玉県	戸田市下戸田・川岸	イボ	巢の糸	巻く	—	
19		八潮市	イボ	巢の糸	巻く	—	
20	神奈川県	横須賀市浦賀	イボ	糸	巻く	—	
21		大磯町	イボ	糸	巻く	—	
22		相崎市	イボ	巢	つける	—	
23	新潟県	出雲崎町	イボ	糸	巻く	—	
24	石川県	能美市辰口町下和気	傷	皮	つぶすしたりはいだものをつける	—	
25	長野県	北安曇郡	イボ	巢	つける	—	
26			イボ	糸	巻く	—	
27		日向小泉・練合・豊昇・北岩尾・京の岩・宮下	イボ	糸	巻く	—	
28		御所平	イボ	糸	巻く	鬼くも	
29		小坂・弘沢・長峰・名古屋・箕瀬・金野	イボ	巢の糸	巻く	—	
30		大草	イボ	巢の糸	巻く	—	
31		千国・堀之内・柏原・雲根・埴原・中村・下新田・伊谷・本洞・王滝下条・妻籠	イボ	巢の糸	巻く	—	
32		中条	咬傷	蜘蛛	つける	—	
33		大町	ものもらい	糸	巻く	—	
34		—	イボ	糸	巻く	—	
35	御代田町	イボ	糸	巻く	—		

36	長野県	南木曾町北部・ 三留野・田立・妻籠	イボ	糸	巻く	—
37	岐阜県	岐阜市	イボ	巣	巻く	—
38	三重県	勢和村色太・波多瀬	イボ	糸	巻く	—
39		度会町	イボ	糸	巻く	オニ蜘蛛
40	鳥取県	八頭郡	ものもらい	糸	巻く	—
41			イボ	糸	巻く	—
42	広島県	安芸高田市	イボ	糸	巻く	—
43		向原町	イボ	糸	巻く	だいじょう蜘蛛
44	徳島県	小松島市	イボ	糸	巻く	—
45	高知県	—	蜂刺症	蜘蛛の汁	つける	—
46	福岡県	—	イボ	糸	巻く	—
47		田川市	イボ	糸	巻く	—
48		太宰府市	イボ	糸	巻く	—
49	長崎県	有明町	魚の骨	糸	つける	麦飯、黒糖と 合わせて額に
50	熊本県	益城町	イボ	糸	巻く	—
51	宮崎県	馬関田	イボ	糸	巻く	—
52	鹿児島県	日置市	イボ	糸	巻く	コガネ蜘蛛

